

徒然想

過ごしやすい季節となりました。虫たちの大合唱を聞いていると、疲れが癒される気がします。しかし、この感覚は日本人特有のものであるという説もあるそうです。外国人の多くは、日本人にとって心がなごむ虫たちの歌声を雑音としか認識しないらしいのです。言語の違いや、虫の声を認識する際の右脳と左脳の働き方など、いろいろな理由が説としてあがっているようですが、せっかくなら秋の虫たちの素晴らしい合唱を楽しめたほうが良い気がします。鈴虫の鳴き声は、PTSD(心的外傷後ストレス障害)の治療にも効果があるという話も聞きます。秋の月とススキを眺めながら、聞こえてくるのはせせらぎの音と虫たちの歌声。そんな時間を楽しめる日本人で良かったと思う次第です。

TECHNICAL TOPICS KRCの技術情報はこちら

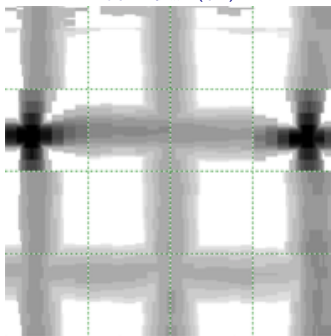
鉄筋コンクリート造建築物の品質管理 JASS5 の改定と鉄筋のかぶり厚さの非破壊検査法

前月に配信した 77 号で土木コンクリート構造物の品質管理における鉄筋探査法についてご紹介しましたが、今号では建築物での品質管理についてご紹介いたします。

2009年2月に改定された日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事2009」では、これまで主に、**型枠脱型後の外観検査によって確認されていた構造体コンクリートのかぶり厚さについて、新たに、かぶり厚さ不足の兆候が認められた場合、非破壊検査によって確認することが規定されました。**また、同仕様書では、JASS 5 T-608:2009「電磁誘導法によるコンクリート中の鉄筋位置の測定方法」または、同等の精度で検査を行える方法に従って、鉄筋位置を測定することが規定されています。



探査状況(柱)



探査結果(壁)

当社では、この JASS 5 T-608 に対応した検査法として、フェロスキャンシステム PS200 (HILTI 社製) による検査を行っております(左写真)。測定部位、部材の配筋状態に合わせ、走査線(X軸、Y軸)に沿って探査し、鉄筋径、本数、かぶり厚さを把握します。今回の検査のような品質管理では、鉄筋径が既知であるため、あらかじめ使用鉄筋径の情報を入力しておくことにより、探査精度がより向上します。

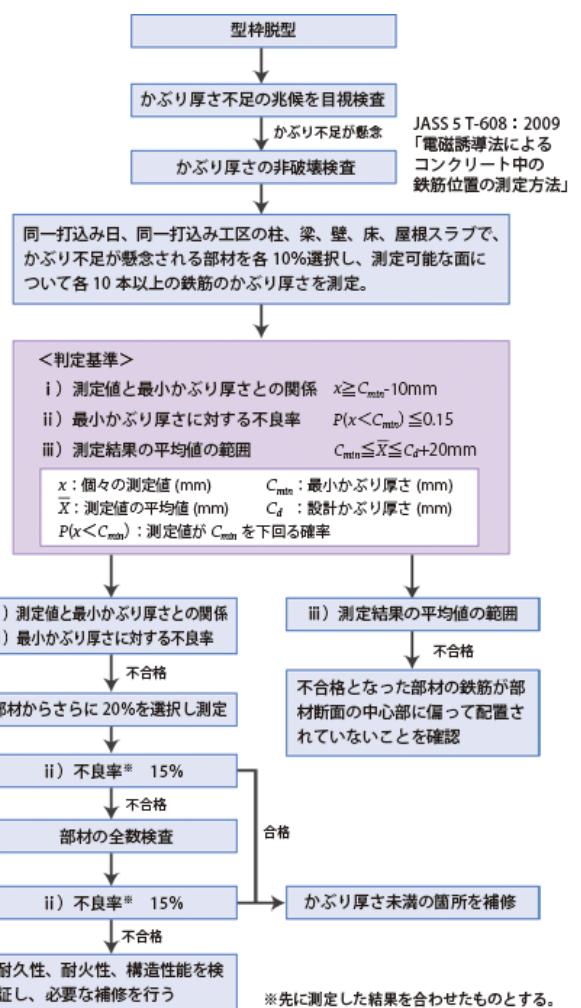
なお、かぶり厚さなどの配筋調査法としては、この他に電磁波レーダ法(RCレーダ等)があります。しかし、型枠脱型後はコンクリートの含水率が急速に変化するため、測定精度が比誘電率に左右される電磁波レーダ法で JASS 5 T-608 と同等の精度で検査を行うためには、その含水率も精度よく測定する必要が生じます。

鉄筋のかぶり厚さ等検査実施の際には、非破壊検査を専門とする当社にぜひご相談ください。

【 詳細 : <http://www.krcnet.co.jp/works/works034.html> 】

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール: krc@krcnet.co.jp HP: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm> で承っております。



かぶり厚さの検査法フロー